令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

代　表　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
1	公明党 小池　伸吾	１．大規模地震による災害時の対策について	（１）　大規模地震を想定した場合の本市の被害予測は。
			（２）　この度の能登半島地震からの教訓として、どのような備えが必要と考えるか。
			（３）　避難所環境のあり方について、市の考えは。
			（４）　トイレトレーラーの導入を提案するが、市の考えは。
			（５）　福祉避難所についての体制は。
			（６）　本市におけるＢＣＰの実効性は。
			（７）　現在の災害廃棄物処理計画の内容とその有効性は。
			（８）　防災訓練の今後の在り方をどう考えるか。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

代　表　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
2	未来創政の会 矢﨑　俊秀	１．大規模地震災害から市民の命と暮らしを守るために	近年、全国各地で大規模地震災害が多発していることから首都直下型地震や南海トラフ地震の前兆にあるとした「専門家の指摘」が報道されている。また、気象庁の地震発生に関するデータベースでは、2011年3月11日の東日本大震災から、本年1月に発災した6年能登半島地震災害を含めて震度6弱以上の地震災害は僅か13年間で31回発生している。中でも、震度6強以上の地震は15回発生しているが、このうち震度7以上の巨大地震は3.6年に1度の驚くほどの頻度で延べ5回発生している。まさに「地震の世紀」を迎えていると言っても過言ではない。そして、繰り返される地震災害で何よりも見逃せないことは、「地震は自然現象」それを災害にしたのは「人が作り出している現象」と専門家の指摘した事態を招いている。その結果、多くの住民が尊い命を失って、大規模地震のたびに都市機能と都市構造物の瓦解を招いて「防災や救助避難」などの防災対策全般に渡って同じ課題や問題を繰り返している。そこで、本市策定の南アルプス市国土強靭化地域計画や耐震改修促進計画などの防災対策は、令和6年能登半島地震や南海トラフ地震などの大規模地震に有効に機能するのか。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

代　表　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
２	未来創政の会 矢﨑　俊秀	２．木造住宅の耐震性能が劣化した経緯についてどの様に対応するのか	耐震化が思うように進展しないが、その背景要因に、建築基準法の耐震規定が昭和56年6月1日及び平成12年6月1日に改正されている。この経緯で課題とするところは、既存の建築物について、改正建築基準法に適合しなくても既存不適格として特例的に建築物の使用を認めている。このことが、都市の中に危険建物と健全建物が混在して、健全建物を巻き込んで、大規模地震災害時に建物の倒壊が招く大火災と延焼を発生させて尊い命や尊い財産を失っている。この関係性から木造住宅の耐震改修の遅れから生じる災害は、都市災害要因として捉える必要性があるが市はどの様に考えるのか。
		３．国土強靭化地域計画の執行体制の強化について	私は昨年12月議会に於いて国土強靭化地域計画の進捗状況について質しましたが、各所管課において適切に予算執行や進捗管理を行っていると根拠を示さないで答弁された。しかし、令和3年3月策定の国土強靭化地域計画の推進期間を概ね5年間と定めて、既に3年経過して進捗率は60％を超えていなければならないがそのような進捗に無い。また、国土強靭化地域計画の影響の最小化の目標が不充分で、そのうえ建築物の耐震化の遅れと共に消防や上下水道の応援協定が機能しない事態が判明している。さらに、医療環境の万全性についても、同議会で当局は説明を回避して無回答にある。つまり、何もやっていないと言える。従って、この様な事態にあるのは、統括主管部が不明で権限が各部に分散されている事に由来していることは明白である。そこで、改めて国土強靭化地域計画の万全性のためには執行体制の強化と権限の強化の再構築の必要性があるが市はどの様に考えるのか。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

代　表　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
2	未来創政の会 矢﨑　俊秀	４．都市計画を活用した防災まちづくりについて	全国の地震災害事例からも明らかなように、脆弱な都市構造の改善を怠ると、同じ問題や課題の繰り返しになる恐れがある。そこで、都市災害を減災するための本市の土地利用状況について俯瞰してみると、市内の各地域で、中世期ごろからの町割りや屋敷割が残されていることから、既存集落区域において間口の狭い、狭隘宅地や、狭隘な道路が継承された都市構造にある。つまり、狭隘な宅地の連担がもたらす街区の密集性と、その密集街区に建てられた耐震性を欠く木造住宅が二重に脆弱性を高めている。このため予測される大規模地震に対して極めて危険な都市構造にあることから、土地利用の規制や改善で都市の強靭化を図る新たな政策の必要性をどの様に考えているのか。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

代　表　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
３	新政南アルプス 飯野多恵子	１．市の玄関口としての南アルプスＩＣ新産業拠点整備事業の役割及び南アルプスＩＣ周辺整備事業の方針について	（１）　南アルプスＩＣ新産業拠点整備事業について、今年の夏には「地域交流エリア」が開業し、来年の春には「集客エリア」のコストコ南アルプス倉庫店の開業が予定されており、新たな市の玄関口として市内外の方々が期待を寄せている。これら施設については、「人々が集い、地域と繋がる集客交流拠点」として、将来のまちづくりに大きく寄与していくものと考えるが、改めて本事業の目的は何か。
			（２）　南アルプスＩＣ新産業拠点整備事業について新たな施設名称が「ｆｕｍｏｔｔｏ南アルプス」に決定するなど、誘致企業2社による事業展開に加えて「もっと地域と繋がる機能」への期待が高まっているが、現在進めている「交通と交流のハブ拠点」について、その方向性は。
			（３）　南アルプスＩＣ周辺整備事業の整備方針について、市ではＩＣ北側の約50haの土地活用に向けて取り組んでおり、先行する拠点整備事業エリアとともにまちづくりの拠点としてとしての開発整備が期待されている。一方で、ＩＣ周辺は非常に広大なエリアであり開発に向けては課題も多いと思うが、事業の実現に向けて市はどのような整備方針で進めていくのか。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

代　表　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
4	躍進会 保坂　広人	１．大規模災害が発生した場合の消防本部の役割と責務について	1月1日に発生した能登半島地震を鑑みて、本市において大規模災害が発生した場合、緊急消防援助隊の応援を受け、災害対応するにあたっての市消防本部としての役割とその責務は。
		２．南アルプスＩＣ周辺整備事業の中央エリアの土地活用についての市の関わり方	国内有数の集客力を誇る「コストコ」の「南アルプス倉庫店」しての開業と山と暮らすまちをテーマとした「地域交流エリア」のオープンを間近に控えた上で、南アルプスＩＣ周辺整備事業の中央エリアの開発を含む土地活用について、市の関わり方とその考え方は。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
5	**公明党** **齊藤　博明**	１．ふるさと応援基金の活用について	基金を取り崩し、初めて令和6年度当初予算にふるさと応援基金繰入金として運用が始まる。当然のことながら、使用目的が定められた寄付金が原資だけに事業選定も限定される。 今予算を編成するにあたり、本基金活用の効果、課題をどのように捉えているか。
		２．企業誘致に伴う、土地売り払い契約について	（１）　土地売り払いを前提とした議案提出後に、企業の撤退が表出した今般の下今諏訪工業団地の議案取下げ案件については、議会及び市民に対し明瞭なる説明があって然るべきと考える。 経緯とその原因を示されたい。
			（２）　議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分の範囲を定める条例では、第2条により工事又は製造の請負を規定し、第3条により財産の取得及び処分について規定している。 そして、財務規則ではそれを補完するために仮契約を取り交わすことと規定しているが、条例第2条によるものと限定しており、第3条の財産の取得及び処分については対象としていないため、今回の事態が生じたものと思う。 今後このようなことが生じることのないように、善後策を講じる必要があると考える。財務規則にはこれを条例第2条に限定することなく、条例の全般にわたって適用されるよう規則を改正することを提案するが、当局の見解は。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
6	**南風** **藤田亜由未**	１．不登校児童生徒と保護者への支援について	（１）　不登校児童生徒数と教育支援センター利用者数の推移は。
			（２）　現在の教育支援センターの運営方針は。
			（３）　令和7年度からの甲西農村環境改善センター改修時における教育支援センターの運営についての考えは。
			（４）　「指導要録上出席扱いとすることができる不登校児童生徒を対象とした民間施設（フリークール等）のガイドライン」のその後の取り組みは。
			（５）　フリースクール等に通う子どもたちへの補助制度実施の考えは。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
6	**南風** **藤田亜由未**	２．未来を担う農業者と持続可能な農業への支援について	（１）　本市の基幹産業として位置付けている農業の未来展望について、南アルプス市の農業を今後どのように展開していこうと考えているか市の考えは。
			（２）　令和4年5月に公布された農業経営基盤強化促進法等の一部改正に基づき、それまでの「人・農地プラン」から「地域計画」へ移行した。計画の進捗状況と今後の具体的な取り組みは。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
7	新政南アルプス 三木　充	１．観光の充実について	（１）　コストコホールセールジャパン南アルプス倉庫店の開業も来春と決まり着工も目前である。交流エリアのヒカレヤマナシの工事は、本年6月末の開業にむけて進んでいるところである。Ｆｕｍｏｔｔｏ南アルプスという名称が与えられたエリアであるが、大いに賑わう事を期待せずにはいられない。 「本市を訪れる皆さんに、買い物だけではなく、市内に誘導して南アルプス市を満喫してもらいたい」と、議会や議員説明会の折に、何度となく耳にしているが、どのような方法を考えているのか。
			（２）　山岳観光とフルーツ観光は、本市においての二大観光であると認識している。目玉の二大観光であるが、シーズンに左右されるという課題もある。そこで新たな観光資源の開発や発掘が必要と考える。また宿泊施設の不足なども大いに懸念されるが、これらへの対応も含め市の見解は。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
7	新政南アルプス 三木　充	２．農地への太陽光発電施設の設置について	本市においては、農業は基幹産業であるとの位置づけである。訪れた方々も、市域北部の果樹園地帯や、南部の田園地帯の景観は魅力的に映ることと考える。本市からの眺望も含め、これは一つの地域財産であるとも言える。近年、農地への太陽光発電の施設が見受けられる状況にあり、「景観上いかがなものか」との声もある。市の考えは。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
8	新政南アルプス 村松三千雄	１．南アルプスユネスコエコパーク登録10周年にあたっての取り組みについて	本市は、生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的とするユネスコエコパークに本市の全域が平成26年6月登録され、自然保護と観光の両立や地域文化の保全など、市の活性化に繋がる事業を積極的に推進してきている。 また、令和6年6月から次の10年が始まることから、改めてユネスコエコパーク理念が、本市の自然の恩恵を活かした魅力あるまちづくりの根幹になると考えており、これらを踏まえて。 （１）　今年の6月、南アルプスユネスコエコパーク登録後、満10年を迎えるにあたり、これまでの各種取り組み状況と成果は。 （２）　令和6年度南アルプス市行政経営方針において、「南アルプスユネスコエコパーク登録10周年を迎えることから、改めて理念の普及に努めるとともに、市民に分かりやすい取組みを実施するなど、日常生活においても南アルプスの自然環境の保全について意識を高める」としているが、今後の取り組みの具体策は。 （３）　南アルプス市の全域が、南アルプスユネスコエコパークの核心・緩衝・移行地域となっている中で、今後10年、本市は中部横断自動車道、リニア中央新幹線、コストコなど企業誘致と、大きく社会構造が変わることとなる。 そこで、「第3次南アルプス市総合計画」策定にあたっては、様々な施策や事業に南アルプスユネスコエコパークの理念を解りやすく取り入れていく必要があると考えるが、市の方針は。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
８	新政南アルプス 村松三千雄	２．ふるさと納税への取り組みについて	（１）　ふるさと納税の寄付額は、令和3年度約16億、4年度は約22億と年々大幅な増額となっている。ふるさと納税のお礼の品は、南アルプスの大地で育まれたフルーツなど地域の特産品をＰＲし、全国へその魅力を発信するためとして地域の特産品等を贈呈している。 　そこで、寄付額の増額を目指した令和5年の取り組み状況と、今後の取り組みは。
			（２）　本市の企業版ふるさと納税については、「南アルプス市まち・ひと・しごと創生寄付金事業として、事業年度を令和2年から6年度までとし、4つの基本目標の達成に向けた事業を展開しているが、これまでの取り組み状況と成果は。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
9	**躍進会** **花輪　幸長**	１．農業生産関係者の確保について	農家の減少には歯止めが掛からず技術の伝承も含め農業の生産性の向上や担い手不足の解消は喫緊の課題である。 その対応施策として、いままで比較的検討されなかった耕作面積が少なく小規模経営の農家への新たな育成策を推進すべきであると考えるが市の考えは。
		２．認知症対策としての農業の活用について	認知症対策として農作業へのかかわりも有効であると思われるが、市の現状の取り組みと今後の対策について市の考えは。
		３．移住者の農業への誘導について	移住希望者の農業への関心は少なからずあると推認する。また、市として農業も含めた移住施策は重要と考える。移住希望者の農業への関心度とそれに対する市の施策は。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
１０	**躍進会** **野中　國幹**	１．荒廃農地、遊休農地の解消に向けた取り組みについて	令和元年12月議会で北村議員が行った一般質問の関連質問において、オリーブ栽培についての支援策を質問した。その答弁は、県の補助金を活用し、耕作面積を増やし他の果樹と同様な対等果樹になれるようになった後、市の方で力を入れていくとの答弁だった。その後、耕作面積が増加しているか、あるいは県の補助金を活用しての支援策はあったか。
		２．鳥獣害対策について	鳥獣害対策に伴う大型囲い罠の質問を令和2年3月議会で行ったが、この時点では成果も充分上がり、効果が得られているとの結果であり、現状を検証していくとの答弁であった。しかし、その後の状況を観測すると、大型囲い罠の周辺にサル等の群れは確認されるが、「檻」の中へ入る気配は見られず効果が得られていないと推測する。そこで、大型囲い罠の改良を行い捕獲に効果が上がるという、遠隔装置が開発されているが、その検討は考えられないか。
		３．小笠原橋へのモニュメント設置について	令和4年9月議会において、小笠原橋へのモニュメントの設置について質問した。その後の小笠原橋の改良工事の進捗状況と、モニュメントの設置について県との協議状況は。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
１１	**松野　昇平**	１．「小1の壁」問題について	小学校入学を機に、子どもの居場所に困り、仕事との両立が難しくなる「小1の壁」問題について、原因のひとつに、小学校に入学してからのほうが、子どもの預かり時間が短くなってしまうことが挙げられる。その解決策として、放課後児童クラブの土曜日開所や長期休み中の開所時間の繰り上げ等が考えられるが、市の所見は。
		２．公共施設の活用と発展について	（１）　旧白根桃源美術館について、国の登録有形文化財としての価値を担保しながら、開放施設としての利活用や民間活用をするといった考えはあるか。
			（２）　南アルプス市健康福祉センターは、保健福祉、支所、児童館といった都市機能が集約されている。他方で、交流施設としての発展のためには、飲食スペースなどの空間整備や、世代間交流や若者向けのイベント事業に取り組むなどの柔軟運営が必要と考えるが、市の所見は。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
１１	**松野　昇平**	３．スクールソーシャルワーカーについて	子ども達が抱える教育的課題を解決するためには、早期発見、早期介入の必要がある。また、学校現場に入り込んで、教職員とともに、子ども達に寄り添う伴走型の支援が必要である。そこで、体制整備として、スクールソーシャルワーカーの常駐化及び「拠点校型」「巡回型」配置などの検討が必要と考えるが、市の所見は。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
１２	**保坂　健**	１．不法投棄対策について	不法投棄は、生活環境の保全や景観に大きな支障を与え、その原状回復には、多大の費用と時間を費やすもので、不法投棄が一旦起きてしまうと、原状回復することは容易ではない。 全国的にも不法投棄は大きな課題となっているなか、市内においても耕作する農地へ、2トンダンプで6、7台分の「土砂」が不法投棄された事案も発生している。処理には多額の費用がかかるとのことである。 そこで、不法投棄の現状等について問う。 （１）　本市における不法投棄の実態をどのように把握しているのか。 （２）　不法投棄物の処理については、どの様に対応しているのか。 （３）　不法投棄防止のための監視活動等の対策はどのように行われているのか。 （４）不法投棄防止対策として、自治会や市民にどのような啓発をしているのか。 （５）今後は、より効果的な不法投棄防止対策を講じていくことが必要であると考えるが、その対策は。

令和６年　南アルプス市議会　第１回定例会（３月）

一　般　質　問　通　告　表

質問順位	質問者	質　問　事　項	質　問　要　旨
１３	小林　敏徳	１．本市の観光事業について	市長が考えている、観光事業とはどのようなものか。
		２．市長3期目の残り3年間のビジョンについて	3期目の1年が過ぎようとしている。残り3年間のビジョンは。
		３．白根インターチェンジ周辺の開発について	南アルプスインターチェンジ周辺の開発はある程度見通しがついた。 白根インターチェンジ周辺の開発はどのように考えているのか。